

教 員 氏 名	小 埜 功 貴	職 位	助教
最 終 学 歴	東京科学大学大学院 博士後期課程 単位取得満期退学		
学 位	修士（学術），東京工業大学大学院		
役 職		委員会	入試委員会（名古屋短期大学入試委員長代行） 現代教養学科ゼミ委員会（委員長）
担 当 科 目	～名古屋短期大学～ 1年生向け科目： ・ キャリアデザインⅠ ・ 教養演習Ⅰ ・ ポピュラーカルチャー論 ・ NPO インターンシップⅡ 2年生向け科目： ・ Kカルチャー論／韓国サブカルチャー（桜花学園大学 国際学部との合同開講） ・ 教養演習Ⅱ・卒業研究 ・ 〈私〉を生きるための社会学 ～非常勤講師～ ・ 日本女子大学：ポップカルチャー論 ・ 桐蔭横浜大学：社会学Ⅰ，社会学Ⅱ ・ 東京科学大学：教養セミナーⅡ ・ 和洋女子大学：こんにちの文化（東アジアにおける若者文化論）		
教科書・教材・教育方法の実践例	・ ワークショップ「東工大生と医科歯科大生のための文章作成ワークショップ」東京科学大学外国語教育センター2024年6月26日 ・ 「若手教育者ならではの強み～学習管理アプリ Studyplus を用いた先生と生徒の共走～」【発表予稿集】『FLExICT Expo 2019 外国語教育・ICT・Active Learning・Classroom Tips の融合』2 147-152 2020年2月		
教育研究業績	・ 「記憶への不法侵入か、新たな物語の始まりか タイプロから問うファンの愛と倫理」『アイドル・オーディション番組が映す現代社会』8 公益財団法人放送文化基金 2026年4月 ・ 「矮小の笑い——『物語じゃないただの傷』にみる中範囲のメンズリブ」『ユリイカ 2026年2月号 特集＝大前栗生』青土社：130-137 2026年1月 ・ 「色彩豊かで多様な男性性の革命へと開かれていく希望を与える書——「マスキュリズム」を根こそぎ（ラディカルに）更新していくために」（書評：『ラディカル・マスキュリズム—男とは何か』）『図書新聞』3704 2025年9月 ・ 「“私の推し”のアイドルがスターになるとき——『まいど！ジャニーニ〜』のオーディションにみる物語消費」『アイドル・オーディション研究：オーディションを知れば日本社会がわかる』青弓社：157-176 2025年9月 ・ 「女性向け趣味領域における男性ファンの被抑圧性をめぐる理論分析—男性ジャニーズファンの事例を中心に—」（研究ノート）『日本ジェンダー研究』（日本ジェンダー学会）27 2024年11月 ・ 「メンズリブ研究会はいかにして活動の停滞を迎えたのか —機関誌『メンズネットワーク』に投稿された話し合いの場に関する批判的記述を事例に一—」		

	『メディア研究』（日本メディア学会） 104 147-164 2024 年 3 月 ・ 「オーディション番組に表象されるアイドルのスター性—ジャニーズ文化のメディア論的分析—」『年報カルチュラル・スタディーズ』（カルチュラル・スタディーズ学会） 11 119-140 2023 年 7 月 ・ 「男性ジャニーズファンによる「非男性性」の承認実践について—支配／従属からの脱構築—」『コモンズ』（東京工業大学未来の人類研究センター） 2 153-180 2023 年 2 月 ・ 「ジェンダーバイアスによる男性の「生きづらさ」について—メンズリブと男性ジャニーズファンを事例に—」【修士学位論文】 東京工業大学大学院（主査：上田紀行 教授） 2022 年 3 月
所属学会	カルチュラル・スタディーズ学会，日本ジェンダー学会，日本社会学会，日本女性学会，日本メディア学会，